

第2回 日本放射線事故・災害医学会 開催のご案内

皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年8月30日（土）福井県におきまして、第2回日本放射線事故・災害医学会を開催させていただくことになりました。

本学会は、東海村 JCO 臨界事故に先立つ2年前の平成9年に、「緊急時被ばく医療の現状、事故事例および放射線障害、線量評価等の最新の知見を検討し、医療の面から原子力防災対策のより良い実現に向かって提言を行うこと、また、それらを検証していくこと」を目的に設立された放射線事故医療研究会が、福島第一発電所事故を受けて発展的に学会組織となったものです。

原子力施設の多い福井県で開催されます今回は、「緊急被ばく医療をどう教えるか」というテーマで、緊急被ばく医療を医療職、および医療職以外の方々にどう啓蒙していくかに視点を当てて、主に若手医療職の方々の発表を中心にプログラムを作成いたしました。福島第一発電所事故の教訓を生かした緊急被ばく医療の教え方を中心に発展的な意見交換ができましたら幸いです。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

平成26年 6月吉日

第2回日本放射線事故・災害医学会

会長 寺澤秀一（福井大学地域医療推進講座教授）

記

■日 時：平成 26 年 8 月 30 日（土）10：00～

■場 所：福井大学医学部附属病院臨床教育研修センター

■テ ー マ：「緊急被ばく医療をどう教えるか」

■プログラム

●10：00～ 特別講演

「地域における原子力防災の取り組み」

安田 伸宏氏（福井大学附属原子力工学研究所原子力防災・危機管理部門長）

●11：00～ セッション A 緊急被ばく医療を住民・行政・警察・消防へどう教えるか

「若狭湾における取り組み」

徳永 日呂伸氏（長良整形外科クリニック）

「福島県における取り組み」

熊谷 敦史氏（福島県立医科大学災害医療総合学習センター副センター長）

●13：30～ 日本放射線事故・災害医学会々員総会

●13：50～ セッション B 緊急被ばく医療を医療職にどう教えるか

「女性看護師からの提言」

福島 芳子氏（弘前大学医学部保健学科）

「女性医師からの提言」

富永 隆子氏（放射線医学総合研究所 R E M A T 医療室）

「福島医大での取り組み」

長谷川 有史氏（福島県立医科大学放射線災害医療センター副部長）

「福井大学での取り組み」

小淵 岳恒氏（福井大学地域医療高度化教育研究センター）

■参加費： 会員—2000 円、非会員—3000 円、懇親会—3000 円 （当日受付）

■参加登録 申込書に必要事項をご記入の上、8 月 15 日（金）までに別紙 FAX にて返信くださいますようお願いいたします。

■懇親会 会場－福井大学医学部附属病院臨床教育研修センター
時間－17：00～18：30

■問い合わせ

第2回日本放射線事故・災害医学会 事務局

福井大学医学部地域医療推進講座

石本秀守、廣瀬仁子（地域医療推進講座事務職員）

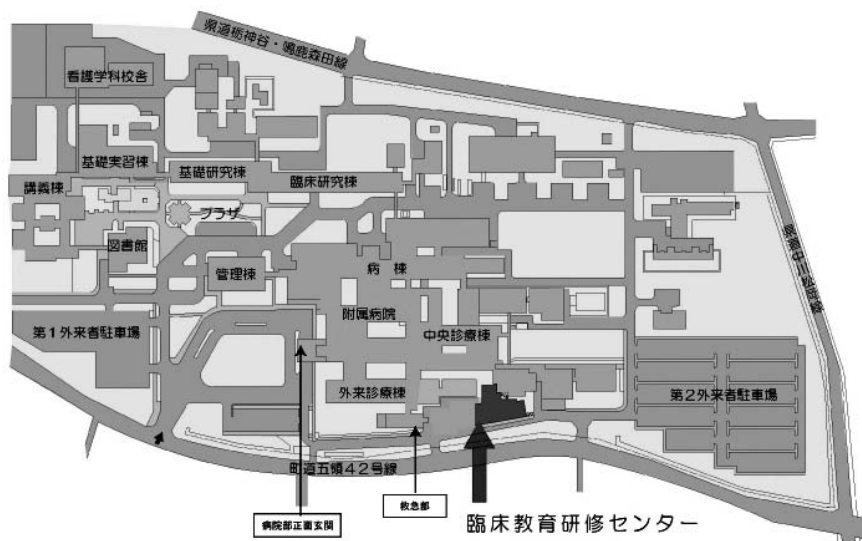
〒910-1193 福井県永平寺町松岡下合月 23-3

T E L : (0776) 61-8264

F A X : (0776) 61-8270

E-mail : chiiki@ml.cii.u-fukui.ac.jp

キャンパス案内図



= 当日の交通のご案内 =

●バス（京福バス）

JR福井駅前バス乗り場11番より「福井大学病院行」に乗車

33・34系統 福井駅前 8：10 発 - 福井大学病院 8：53 着

35系統 福井駅前 8：05 発 - 福井大学病院 8：43 着

●電車（えちぜん鉄道 勝山永平寺線）

福井駅 8：28 発 - 松岡駅 8：47 着

福井駅 8：56 発 - 松岡駅 9：15 着

※松岡駅より徒歩30分またはタクシー5分になります。

●車

車でお越しの場合は、病院正面駐車場または第2外来者駐車場をご利用下さい。